

工法紹介

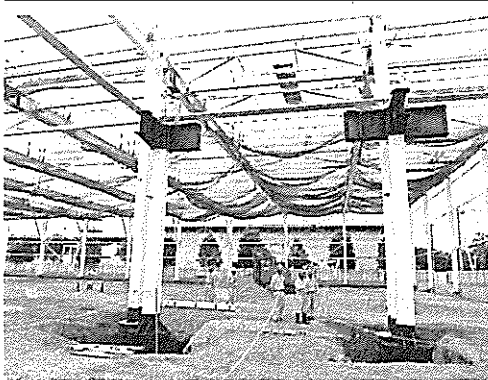
JFEシビル

「いちいち基礎システム建築」

一柱一杭工法で全体工期を短縮

JFEシビル(本社・東京都市台東区、藤井善英社長)は、工場・倉庫・事務所など幅広い用途の鉄骨システム建築を提供している。断熱性や気密性に優れ、各地のアイススケート場にも多く採用されているほか、最近とくに注目を浴びているのが、「いちいち基礎システム建築」だ。

「いちいち基礎システム建築」とは、一柱一杭工法を採用した上下部一体構造のシステム建築で、杭と上部構造の鉄骨を一体化でき



建て方中のようす

る新技術。上下部一体設計という特別な設計を行い、コンクリートフーチングや基礎梁、アンカーボルトを省略した「キャップ式いちいち基礎工法」という特許工法を採用することで始めて実現可能となった。

同工法は、杭工事の完了後、直ちに鉄骨建方が進められ、基礎梁などの各種工事も省略することができ、全体工期を1/4程度短縮できる。また、鉄筋工事や型枠工事の職人不足が叫ばれるなか、腰壁にもPC板を採用するなど、コンクリート工事を最小限とすることで全体工期のさらなる低減に寄与。同社は、「今後ともお客様の様々なご要望にお応えできるシステム建築をさらなる短工期でご提供していきたい」とする。

工法紹介

JFEシビル

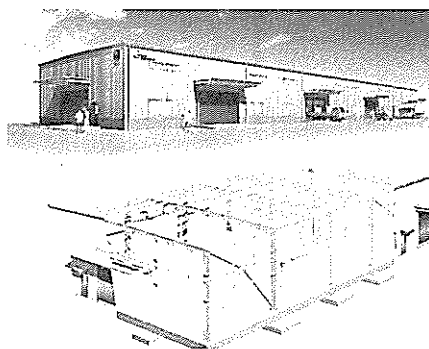
「クイックメタル」

設計工期短縮、適判省略

「クイックメタル」は、JFEシビル(本社・東京都市台東区、藤井善英社長)のシステム建築「メタルビル」の形状・規模と適用範囲を限定して設計工期を大幅に短縮した商品だ。13年1月、国土交通省から図書省略認定を取得。規格化されたユニットを組合せて設計する仕組みにより基本設計期間が短縮され、構造設計適合性判定を省略可能。14年4月第1号物件を受注し、その後引き合いも多い。

同商品を採用することで、①構造計算書が不要(設計期間の短縮)②確認検査における構造計算適合性判定が不要(審査期間の短縮)③構造設計一級建築士の関与が不要かつ安定した設計品質を確保④初期計画の段階で簡単にコストを把握(迅速な提案活動)⑤製作工程への情報伝達をスピードアップ(工期短縮)——など多くのメリットがある。

一般地域(積雪量30cm以下)向けクイックメタルに引き続き、現在、第2弾として多雪地域(積雪量150cm以下)でも適用可能な認定の取得に向け開発を進めている。早ければ今年度中にも取得できる見込み。これが実現すれば日本全国の大部分をカバーできるようになり、営業活動の全国展開を図っていく。



完成イメージと内部構造(一般地域向け)

をさらなる短工期でご提供していきたい」とする。